

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 33) 東洋学概論	91～106
---------------	--------

はき 33-91 些細なことでも恐れる人の五官に現れる症状はどれか。

1. 脱 毛
2. 浮 腫
3. 耳 聾
4. 口 甜

はき 33-92 血について正しいのはどれか。

1. 宗気により構成される。
2. 精神活動を正常に維持する。
3. 脈外をめぐり全身に分布する。
4. 生命活動を維持する精微物質である。

はき 33-93 津液について正しいのはどれか。

1. 腎精により生成される。
2. 三焦を通り全身をめぐる。
3. 脾によって全身に輸布される。
4. 停滞すると脹痛が起こりやすい。

はき 33-94 水穀を水穀の精微と糟粕に変化させる作用はどれか。

1. 和 降
2. 化 物
3. 伝 化
4. 流 通

はき 33-95 諸気を主宰する臓腑はどれか。

1. 肝
2. 肺
3. 胆
4. 三 焦

はき 33-96 臓腑に連絡しないのはどれか。

1. 経 脈
2. 経 別
3. 経 筋
4. 絡 脈

はき 33-97 夏に最も影響を受けやすい外邪の特徴はどれか。

1. 開泄性
2. 乾燥性
3. 炎上性
4. 昇散性

はき 33-98 七情において、気を消耗する感情が過度に生じることでみられる症状はどれか。

1. 頭痛
2. 動悸
3. 咳嗽
4. 軟便

はき 33-99 裏実熱と裏虚熱が同時にみられるのはどれか。

1. 肝火犯肺
2. 心肝火旺
3. 心腎不交
4. 脾胃湿熱

はき 33-100 次の症例で最も適切な臓腑病証はどれか。「75歳の男性。夜間の頻尿と咳で不眠が続いている。口が乾き、から咳がみられ、腰膝酸軟と盗汗を伴う。舌質は瘦、脈は細を認める。」

1. 心腎不交
2. 心肝血虚
3. 肺脾气虚
4. 肺腎陰虚

はき 33-101 次の文で示す経脈病証はどれか。「胸苦しさ、胸の熱感、手掌のほてり、息切れがみられる。」

1. 手の太陰経病証
2. 手の少陽経病証
3. 手の少陰経病証
4. 手の太陽経病証

はき 33-102 舌質の色でみられるのはどれか。

1. 紫
2. 黒
3. 黄
4. 白

はき 33-103 弁証の進め方で最初に判断すべきなのはどれか。

1. 気と血
2. 虚と実
3. 寒と熱
4. 表と裏

はき 33-104 次の文で示す六経病証はどれか。「悪寒と発熱を交互に繰り返し、目眩がある。脈は弦を認める。」

1. 少陽病
2. 陽明病
3. 太陰病
4. 少陰病

はき 33-105 六部定位脈診で右関上の沈の部が虚している場合、難経六十九難に基づく治療穴はどれか。

1. 陽 谷
2. 勞 宮
3. 少 衝
4. 經 渠

はき 33-106 鍼施術における補法はどれか。

1. 速刺速抜する。
2. 刺入した鍼を押手で揺るがせる。
3. 患者の吸気時に刺入し、呼気時に抜鍼する。
4. 抜鍼後は直ちに鍼孔を閉じる。

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 32) 東洋学概論	91～106
---------------	--------

はき 32-91 未病の概念について適切なのはどれか。

1. 人体と自然は相応している。
2. 心と体は一体である。
3. 人体は有機体として機能する。
4. 健康と疾病は連続している。

はき 32-92 狭義の神の働きでないのはどれか。

1. 思惟活動の維持
2. 精神活動の制御
3. 生命活動の維持
4. 外界刺激に対する情動反応

はき 32-93 本虚標実証に含まれるのはどれか。

1. 肝鬱気滞
2. 肝陽上亢
3. 肝火犯肺
4. 心肝火旺

はき 32-94 衝脈・任脈・督脈のすべてと密接な関係にある奇恒の腑の機能はどれか。

1. 月経を主る。
2. 肢体を支える。
3. 情報を伝達する。
4. 生命活動を主宰する。

はき 32-95 経絡の概要について正しいのはどれか。

1. 経脈の循行は上焦から起こる。
2. 経別は別行する正経である。
3. 奇経は表裏関係をもつ。
4. 絡脈が集まったものを浮絡という。

はき 32-96 顔の望診で色を判断できない場合に用いる皮膚の部位はどれか。

1. 腹部
2. 前腕前面部
3. 背部
4. 下腿後面部

はき 32-97 陰器（生殖器）に集まる経筋はどれか。

1. 手の三陰経筋
2. 手の三陽経筋
3. 足の三陰経筋
4. 足の三陽経筋

はき 32-98 長夏の病邪で生じやすい症状はどれか。

1. けいれん
2. 大量の汗
3. 激しい口渇
4. 下肢の浮腫

はき 32-99 三毒説と関係するのはどれか。

1. 疫 癘
2. 心 労
3. 打 撲
4. 運動不足

はき 32-100 五行色体で相剋関係にある組合せはどれか。

1. 噫 —— 羽
2. 収 —— 肌肉
3. 麦 —— 羊
4. 石 —— 色

はき 32-101 次の文で示す経脈病証はどれか。「55歳の女性。3週間前に肩の上部から上肢後面が痛み始めた。1週間前から耳の後ろと目尻が痛む。汗をかきやすい。」

1. 手の太陰経
2. 手の少陰経
3. 手の太陽経
4. 手の少陽経

はき 32-102 次の文で示す三陰三陽病証はどれか。「全身の冷え、悪寒、下痢、嗜眠を呈し、抵抗力が弱く、身体が衰弱している状態。」

1. 少陽病
2. 太陰病
3. 少陰病
4. 厥陰病

はき 32-103 次の文で示す病証でみられる便秘はどれか。「34歳の女性。半年前に仕事を辞め、新しい仕事を探しつつ、夜中はテレビゲームで遊んでいることが多い。嘔気が頻繁に起こり、腹部の膨満感を伴う。」

1. 熱 秘
2. 気 秘
3. 虚 秘
4. 冷 秘

はき 32-104 次の文で示す病証で最も適切なのはどれか。「32 歳の男性。5 日前に雨天の中、長時間の歩行をした。その翌日に微熱と発汗がみられた。現在は、倦怠感と食欲不振、水様便がみられる。」

1. 表虚証
2. 裏虚証
3. 表実証
4. 裏実証

はき 32-105 次の文で示す病証に対する鍼の補瀉手技で適切なのはどれか。「21 歳の男性。昨日、薄着で外出したところ、今朝から悪寒と頭痛を自覚した。咳、痰はみられない。脈は浮緊を認める。」

1. 刺入後、押手を揺るがせる。
2. 刺入後、細かく鍼を回転させる。
3. 呼気時に刺入し、吸気時に抜鍼する。
4. 浅く刺入し、後に深くする。

はき 32-106 治法八法で停滞した病理産物を散らすのに最も適切なのはどれか。

1. 汗 法
2. 清 法
3. 吐 法
4. 消 法

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 31) 東洋学概論	91～106
---------------	--------

はき 31-91 五行色体における五臓と五労の組合せで誤っているのはどれか。

1. 肝-久 視
2. 脾-久 坐
3. 肺-久 臥
4. 腎-久 立

はき 31-92 成長や生殖活動を行うもととなる基本的な物質の生理作用で最も適切なのはどれか。

1. 神を維持する。
2. 血脈を満たす。
3. 呼吸を推動する。
4. 体温を一定に保つ。

はき 31-93 三焦を通して臓腑の気になるのはどれか。

1. 宗 気
2. 衛 気
3. 営 気
4. 原 気

はき 31-94 条達作用をもつ臓腑と相生関係にある臓腑の作用はどれか。

1. 気血の源
2. 水穀の海
3. 水の上源
4. 陰陽の根本

はき 31-95 肺が外邪の侵襲を防ぎ、臓腑を保護することを示すのはどれか。

1. 嬌 臓
2. 華 蓋
3. 肅 降
4. 宣 発

はき 31-96 降濁作用の補助を受けている作用はどれか。

1. 伝 化
2. 疏 泄
3. 肅 降
4. 化 物

はき 31-97 経脈病証で、喉に症状があり、外側前腕皮神経の支配領域に痛みがあるのはどれか。

1. 手の少陰経
2. 手の少陽経
3. 手の陽明経
4. 手の太陽経

はき 31-98 六淫で生風を特徴とするのはどれか。

1. 風 邪
2. 暑 邪
3. 燥 邪
4. 火 邪

はき 31-99 内因において、気を緩ませる感情が過度に生じることでみられる症状はどれか。

1. 失 禁
2. 動 悸
3. 食欲不振
4. 声のかすれ

はき 31-100 湯液療法（和漢薬）について正しいのはどれか。

1. 鉉物を用いる。
2. 副作用がない。
3. 証をたてる必要はない。
4. 多くは単味で用いる。

はき 31-101 五心煩熱や盗汗がみられるのはどれか。

1. 肝脾不和
2. 心肝火旺
3. 心脾両虚
4. 心腎不交

はき 31-102 次の文で示す症例の経脈病証はどれか。「65 歳の男性。2 週間前から腰痛で、前かがみや仰向けができない。最近はお腹部が痛み、季肋部が腫れ、喉が渇き、下痢をする。」

1. 足の太陰経
2. 足の厥陰経
3. 足の陽明経
4. 足の少陽経

はき 31-103 汗と脈状の組合せで正しいのはどれか。

1. 無 汗 ————— 濇 脈
2. 戦 汗 ————— 結 脈
3. 大 汗 ————— 滑 脈
4. 手足心汗 ———— 細 脈

はき 31-104 次の文で示す症例の腹診所見はどれか。「44 歳の女性。主訴は頭痛。半年前に転職し、上司との人間関係がうまくいかず気が滅入る。頭部に刺すような痛みがあり、顔のシミが目立つようになってきた。」

1. 腹裏拘急
2. 心下痞硬
3. 小腹不仁
4. 少腹急結

はき 31-105 六部定位脈診で左手関上の沈の部が実している場合、難経六十九難に基づく治療穴はどれか。

1. 少 府
2. 経 渠
3. 陰 谷
4. 陽 輔

はき 31-106 次の文で示す病証の病理で正しいのはどれか。「48 歳の男性。 3 か月前に新型コロナウイルス感染症で 30 日間入院した。退院後も乾いた咳嗽が続き、粘稠性で黄色の痰が少量出る。また手足がほてり、頬が紅い。」

1. 肺気の不足
2. 風寒の侵襲
3. 陰液の損傷
4. 痰湿の停留

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 30) 東洋学概論	91～106
---------------	--------

はき 30-91 陰陽の関係で「寒い日には活動して冷えすぎないようにする」のはどれか。

1. 陰陽互根
2. 陰陽消長
3. 陰陽制約
4. 陰陽転化

はき 30-92 血瘀の症状はどれか。

1. 筋けいれん
2. 顔面蒼白
3. 視力減退
4. 色素沈着

はき 30-93 気血を化生する臓が剋する臓について正しいのはどれか。

1. 血を主る。
2. 魂を蔵する。
3. 発汗を調節する。
4. 耳に開竅する。

はき 30-94 全身の陽気を主る臓腑と表裏関係にある臓腑の生理作用はどれか。

1. 受 盛
2. 治 節
3. 降 濁
4. 納 気

はき 30-95 外邪とその特徴の組合せで正しいのはどれか。

1. 風 邪 —— 動 血
2. 暑 邪 —— 昇 散
3. 湿 邪 —— 凝 滯
4. 寒 邪 —— 重 濁

はき 30-96 気機を上昇させる特性をもつ五志に損傷されやすい臓の症状はどれか。

1. 目のかすみ
2. 不整脈
3. 皮膚の乾燥
4. 歯のぐらつき

はき 30-97 陽經の氣血を調節するのはどれか。

1. 督 脈
2. 任 脈
3. 衝 脈
4. 帶 脈

はき 30-98 次の文で示す患者の病因で最も適切なのはどれか。

「28 歳の女性。年末年始に接客が多忙だった。その後、徐々に氣力がなくなり、疲れやすく、接客が辛い。」

1. 思
2. 寒 邪
3. 勞 倦
4. 飲食不節

はき 30-99 次の文で示す患者の病証の病理で正しいのはどれか。

「82 歳の男性。半年前に誤嚥性肺炎で 1 ヶ月間入院した。退院後から腰の痛み、耳鳴り、手足のほてりが出現し寝汗をかくようになった。」

1. 疏泄の失調
2. 運化の失調
3. 肝火の上炎
4. 腎陰の不足

はき 30-100 經脈病証で「前頸部が腫れ、口がゆがみ口すぼめができず、うつ傾向にある」のはどれか。

1. 手の太陰經病証
2. 手の少陰經病証
3. 足の陽明經病証
4. 足の少陽經病証

はき 30-101 經脈病証で難聴が起こるのはどれか。

1. 足の少陰經
2. 手の太陽經
3. 足の厥陰經
4. 手の陽明經

はき 30-102 次の文で示す患者の病証で最もみられる脈状はどれか。

「43 歳の男性。主訴は便秘。1 週間前に風邪を引き、その後、口渇が強くなり発汗も多くなった。午後 3 時から 5 時くらいまで体温が高くなる。」

1. 濡 脈
2. 弦 脈
3. 洪 脈
4. 緩 脈

はき 30-103 次の文で示す病証の治療原則で最も適切なのはどれか。

「慢性の眩暈と頭痛、目の充血、のぼせ、腰がだるく力が入らない。脈は弦細数を認める。」

1. 瀉実
2. 急則治標
3. 補虚瀉実
4. 因地制宜

はき 30-104 次の文で示す患者の病証で最も適切なのはどれか。

「46 歳の男性。主訴は肩こり。1 年以上テレワークで外出機会が減少し、ストレスを感じている。胸肋部痛と喉のつかえ感を伴う。」

1. 陰虚
2. 気滞
3. 湿熱
4. 血虚

はき 30-105 奇経八脈で血海と呼ばれるのはどれか。

1. 任. 脈
2. 衝. 脈
3. 陰維脈
4. 陰蹻脈

はき 30-106 十二刺の偶刺に基づいた治療穴の組合せで正しいのはどれか。

1. 太淵 —— 列欠
2. 太淵 —— 肺兪
3. 中府 —— 列欠
4. 中府 —— 肺兪

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 29) 東洋学概論	91～106
---------------	--------

はき 29-91 陰陽の属性が同じ組合せはどれか。

1. 温 ————— 西
2. 遅 ————— 凸
3. 魄 ————— 腹
4. 左 ————— 偶 数

はき 29-92 陽中の陰の臓が剋する臓の生理作用はどれか。

1. 疏泄を主る。
2. 血を主る。
3. 運化を主る。
4. 水を主る。

はき 29-93 陰虚にみられる舌苔はどれか。

1. 厚 苔
2. 潤 苔
3. 膩 苔
4. 少 苔

はき 29-94 胸中に集まる気について正しいのはどれか。

1. 發育を促す。
2. 発声に関わる。
3. 発汗を調整する。
4. 栄養分をもつ。

はき 29-95 津液の停滞による症状はどれか。

1. 盜 汗
2. 口 渴
3. しびれ
4. 下 痢

はき 29-96 決断を主る臓腑と表裏関係にある臓腑の生理作用はどれか。

1. 気を主る。
2. 血流量を調節する。
3. 全身の陽気を主る。
4. 水分代謝を調節する。

はき 29-97 五臓とそれが蔵すものの組合せで正しいのはどれか。

1. 肝 ————— 精
2. 心 ————— 血
3. 脾 ————— 営
4. 腎 ————— 魂

はき 29-98 三陰三陽病と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 少陰病 ————— 臥床を好む
2. 太陰病 ————— 便秘
3. 少陽病 ————— 項のこわばり
4. 陽明病 ————— めまい

はき 29-99 次の文で示す症状を引き起こす六淫の性質に含まれるのはどれか。

「梅雨の時期から体が重く下肢がむくみ、下痢をするようになった。」

1. 遊走性
2. 昇散性
3. 粘滯性
4. 収引性

はき 29-100 五労で正しいのはどれか。

1. 久しく臥すは脾を傷る。
2. 久しく視るは心を傷る。
3. 久しく行くは腎を傷る。
4. 久しく坐すは肺を傷る。

はき 29-101 病証において虚実挟雑証でないのはどれか。

1. 風熱犯肺
2. 心腎不交
3. 脾虚湿盛
4. 肝陽上亢

はき 29-102 次の文で示す経脈の病証はどれか。

「48歳の女性。発汗、目尻から頬の痛みがあり、耳鳴りが続き耳が聞こえにくい。」

1. 足の陽明経
2. 手の太陽経
3. 足の少陰経
4. 手の少陽経

はき 29-103 次の文で示す患者の病証で最もみられる症状はどれか。

「42歳の女性。主訴は月経周期の乱れ。子どもの面倒をみながらの在宅勤務でイライラすることが多い。」

1. 太息
2. 呵欠
3. 短気
4. 嘔噦

はき 29-104 経脈病証で咽喉の症状がみられないのはどれか。

1. 手の陽明経脈
2. 手の太陽経脈
3. 足の陽明経脈
4. 足の太陽経脈

はき 29-105 六部定位脈診で右手関上の沈の部が虚している場合、難経六十九難に基づく治療穴はどれか。

1. 中 渚
2. 商 丘
3. 劳 宫
4. 曲 泉

はき 29-106 腰殿部外側と大腿外側の脹痛に対して、侠溪を取穴した治療の法則はどれか。

1. 局所取穴
2. 循経取穴
3. 分刺による取穴
4. 難経六十九難の取穴

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 28) 東洋学概論	89～101
---------------	--------

はき 28-89 次の文で示す患者の病因で最も適切なのはどれか。「34 歳の男性。1 週間前に上司から販売業績が悪いことを責められた。やる気がでない。声に力がなく、食欲もない。」

1. 飲食不節
2. 労 倦
3. 湿 邪
4. 怒

はき 28-90 五行色体における五脈と五病の組合せで正しいのはどれか。

1. 弦 —— 吞
2. 代 —— 咳
3. 毛 —— 語
4. 石 —— 欠

はき 28-91 脈中を行き、血をめぐらすのはどれか。

1. 原 気
2. 宗 気
3. 営 気
4. 衛 気

はき 28-92 2 六腑に属する奇恒の腑が、剋する腑の生理作用はどれか。

1. 貯尿を主る。
2. 受納を主る。
3. 決断を主る。
4. 昇清を主る。

はき 28-93 五臓と生理作用の組合せで正しいのはどれか。

1. 肝 —— 封 蔵
2. 心 —— 蔵 血
3. 腎 —— 治 節
4. 脾 —— 昇 清

はき 28-94 急にめまい、けいれんを起こすのはどれか。

1. 内 風
2. 内 寒
3. 内 湿
4. 内 燥

はき 28-95 五勞で正しいのはどれか。

1. 久しく視ると血を傷る。
2. 久しく歩くと肉を傷る。
3. 久しく坐ると気を傷る。
4. 久しく立つと筋を傷る。

はき 28-96 次の文で示す患者の病証で最もみられる汗の状態はどれか。

「36 歳の男性。主訴は咳嗽。水様の鼻汁 を伴い、息切れ、倦怠感も訴える。脈は弱。」

1. 自 汗
2. 盜 汗
3. 大 汗
4. 絶 汗

はき 28-97 経脈病証で「顔がくすみ、皮膚がかさかさして艶がない。 口が苦く、 よくため息をつく。 痛みで寝返りが打てない。」のはどれか。

1. 手の太陰経病証
2. 手の太陽経病証
3. 足の少陽経病証
4. 足の厥陰経病証

はき 28-98 虚証で最もみられるのはどれか。

1. 脱 肛
2. 拒 按
3. 滑 脈
4. 口 苦

はき 28-99 次の文で示す患者の病証で最もみられる舌所見はどれか。

「54 歳の女性。主訴は肩こり。2 週間前 に感冒にかかり咳が強く出た。現在も透明な鼻汁が出て痰が多い。」

1. 膩 苔
2. 燥 苔
3. 黄 苔
4. 剥落苔

はき 28-100 難経六十九難の治療法則で原穴を選穴するのはどれか。

1. 肝虚証
2. 脾虚証
3. 肺虚証
4. 腎虚証

はき 28-101 痹証と十二刺の組合せで正しいのはどれか。

1. 筋 痹 ———— 恢 刺
2. 心 痹 ———— 陰 刺
3. 寒 痺 ———— 輪 刺
4. 骨 痺 ———— 直鍼刺

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 27) 東洋医学概論	89～101
----------------	--------

はき 27-89 気について正しいのはどれか。

1. 宗気は臍下丹田に集まる。
2. 原気は津液を血に変化させる。
3. 衛気は臓腑を温める。
4. 営気は呼吸を推動する。

はき 27-90 五行色体で相剋関係にある組み合わせはどれか。

1. 酸 ————— 鹹
2. 面 色 ————— 毛
3. 汗 ————— 涎
4. 久 坐 ————— 久 臥

はき 27-91 「関節がだるく痛み、頭が重くなる。」の症状を引き起こす病邪の特徴はどれか。

1. 粘滯性
2. 昇散性
3. 開泄性
4. 収引性

はき 27-92 臓腑と生理作用の組合せで正しいのはどれか。

1. 小 腸 ————— 受 納
2. 胃 ————— 降 濁
3. 大 腸 ————— 化 物
4. 胆 ————— 腐 熟

はき 27-93 胆経の病でみられるのはどれか。

1. 嘆 息
2. 喘 息
3. 嘔 噦
4. 吃 逆

はき 27-94 気血を化生する臓はどれか。

1. 肝
2. 心
3. 脾
4. 腎

はき 27-95 次の文で示す患者の病証で最もみられる脈状はどれか。

「45歳の女性。主訴は膝痛。10日前に転倒して膝を打撲した。現在も膝内側が腫れて痛み、夜間も痛む。」

1. 滑脈
2. 洪脈
3. 濡脈
4. 瀦脈

はき 27-96 経脈病証で「顔がすすけて黒く、腰が痛く、陰囊が腫れて痛み、小便が出ない。」のはどれか。

1. 足の厥陰経脈病証
2. 足の少陰経脈病証
3. 足の少陽経脈病証
4. 足の太陽経脈病証

はき 27-97 舌診で気陰両虚の所見はどれか。

1. 舌体が腫れて大きい。
2. 舌苔が剥落している。
3. 舌の色が青紫色である。
4. 舌下静脈の怒張がある。

はき 27-98 六部定位脈診で左手尺中の沈の部が虚している場合、難経六十九難に基づく治療穴の部位はどれか。

1. 足の第1指、末節骨外側、爪甲角の近位外方1分
2. 足内側、第1中足指節関節内側の近位陥凹部、赤白肉際
3. 膝後内側、半腱様筋腱の外縁、膝窩横紋上
4. 下腿後内側、アキレス腱の前縁、内果尖の上方2寸

はき 27-99 大腸の病変に用いる下合穴はどれか。

1. 陽陵泉
2. 足三里
3. 上巨虚
4. 委陽

はき 27-100 心火亢盛証でみられないのはどれか。

1. 口渇
2. 不眠
3. 舌尖紅
4. 結脈

はき 27-101 次の文で示す患者の治療方針で最も適切なのはどれか。

「27歳の女性。月経過多に悩む。食欲不振で大便溏薄、臍部に力がなく、四肢が冷える。面色萎黄。」

1. 胃熱を除く。
2. 腎精を補う。
3. 痰湿を除く。
4. 脾気を補う。

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 26) 東洋医学概論	89～101
----------------	--------

はき 26-89 五行色体で相生関係にある組合せはどれか。

1. 鉤 —— 毛
2. 藏 —— 生
3. 志 —— 神
4. 語 —— 吞

はき 26-90 「胸中の灼熱様の痛み、激しい口渇、空腹だが飲食ができない、四肢厥冷、嘔吐、下痢。」 4.

1. 陽明病
2. 太陽病
3. 少陰病
4. 厥陰病

はき 26-91 次の文で示す経脈病証はどれか。「心煩、心下痛、舌の強ばり、舌痛、鼠径部や膝の腫痛や冷え。」

1. 手の少陰経
2. 足の太陰経
3. 手の陽明経
4. 足の太陽経

はき 26-92 下肢と体幹の両側の陰陽を調節し、下肢の陰経と陽経の協調に関与するのはどれか。

1. 陽蹻脈
2. 陽維脈
3. 帶 脈
4. 督 脈

はき 26-93 すべての絡脈に瘀血があるときに用いるのはどれか。

1. 鳩 尾
2. 長 強
3. 大 包
4. 蠡 溝

はき 26-94 体重節痛を起こした場合、治療部位として適切なのはどれか。

1. 前脛骨筋腱内側の陥凹部、内果尖の前方
2. 第4・第5中足骨間、第4中足指節関節近位の陥凹部
3. 足内側、舟状骨粗面の下方、赤白肉際
4. 第5中足指節関節の近位陥凹部、赤白肉際

はき 26-95 次の文で示す患者の症状を引き起こす六淫で最も適切なのはどれか。

「40 歳の女性。昨日、外出後、頭痛、鼻づまり、咽喉部の痒み、眼瞼および顔面の浮腫が発生した。顔面麻痺様の症状もある。」

1. 寒 邪
2. 風 邪
3. 湿 邪
4. 暑 邪

はき 26-96 次の文で示す患者の病証はどれか。

「最近、息切れと無力感があり動くと汗が出る。顔色は蒼白く、不眠、舌質は淡嫩。脈は細弱。」

1. 気虚血瘀
2. 気血両虚
3. 気滞血瘀
4. 気不摂血

はき 26-97 病証と病因の組合せで正しいのはどれか。

1. 肝胆湿熱 ————— 肝血虚が胆火に波及したもの
2. 心火亢盛 ————— 心陰が亢進したもの
3. 脾胃湿熱 ————— 湿が脾胃に長く影響し化熱したもの
4. 腎陰虚 ————— 腎気虚が進行し気の温煦作用が低下したもの

はき 26-98 足の太陽膀胱経の病証はどれか。

1. 前胸部・腹部・鼠径部の痛み、顔面の麻痺
2. 前頭部・後頭部・脊柱の痛み、精神異常
3. 側頭部・体幹外側・下肢外側の痛み、顔色のくすみ
4. 腰部・大腿・下腿内側の痛み、顔色の黒ずみ

はき 26-99 次の文で示す患者の病証でみられる脈診所見はどれか。

「52 歳の男性。主訴は腰痛。不眠や手足のほてりを伴う。仕事の疲れがたまると眩暈や盗汗が起こる。」

1. 滑 脈
2. 弦 脈
3. 細 脈
4. 緊 脈

はき 26-100 六部定位に配当される脈診部位と絡穴部位の組合せで正しいのはどれか。

1. 右寸口 ————— 尺側手根屈筋腱の橈側縁、手関節掌側横紋の上方 1 寸
2. 左関上 ————— 長母指外転筋腱と短母指伸筋腱の間、手関節掌側横紋の上方 1 寸 5 分
3. 右関上 ————— 前脛骨筋の外縁、外果尖の上方 8 寸
4. 左尺中 ————— 長掌筋腱と橈側手根屈筋腱の間、手関節掌側横紋の上方 2 寸

はき 26-101 肘関節に向けて刺入すると補法になる経穴の部位はどれか。

1. 尺骨内縁と尺側手根屈筋の間、手関節背側横紋の上方 5 寸
2. 長掌筋腱と橈側手根屈筋腱の間、手関節掌側横紋の上方 5 寸
3. 肘頭と肩峰角を結ぶ線上、肘頭の上方 2 寸
4. 肘後外側、上腕骨外側上顆の上縁、外側顆上稜の前縁

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 25) 東洋医学概論	89～101
----------------	--------

はき 25-89 相剋関係にある経脈の絡穴の組み合わせはどれか。

1. 外 関 ——— 通 里
2. 蠡 溝 ——— 大 鍾
3. 公 孫 ——— 偏 歴
4. 飛 揚 ——— 内 関

はき 25-90 五行色体で相剋関係にある組合せはどれか。

1. 筋 ————— 唾
2. 血 脈 ——— 涎
3. 肌 肉 ——— 涕
4. 皮 毛 ——— 汗

はき 25-91 三焦を通過して全身に分布する気はどれか。

1. 原 気
2. 宗 気
3. 営 気
4. 衛 気

はき 25-92 水の上源といわれる臓腑はどれか。

1. 脾
2. 肺
3. 腎
4. 膀胱

はき 25-93 心下付近に結ぶ経筋はどれか。

1. 足の三陰
2. 足の三陽
3. 手の三陰
4. 手の三陽

はき 25-94 次の文で示す患者の症状を引き起こす六淫はどれか。「55 歳の女性。梅雨の頃より頭や体が思く、四肢がだるくなり、関節が腫れ、下痢をするようになった。」

1. 風 邪
2. 暑 邪
3. 湿 邪
4. 寒 邪

はき 25-95 五労と傷られる臓が現す症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 久 視 ——— 語
2. 久 臥 ——— 欠
3. 久 坐 ——— 吞
4. 久 立 ——— 咳

はき 25-96 経脈病証で前胸部、心下部、腋下部の圧迫感、下腿内側の腫れや痛みがみられるのはどれか。

1. 陽明胃経病証
2. 太陰脾経病証
3. 少陽胆経病証
4. 厥陰肝経病証

はき 25-97 脈診で左手関上「浮」に配当される臓腑の募穴はどれか。

1. 日 月
2. 関 元
3. 章 門
4. 石 門

はき 25-98 次の文で示す患者の病証でみられ舌象はどれか。「43 歳の男性。主訴は頭痛。めまい、目赤、胸脇苦満を伴う。最近、仕事上のストレスを抱えている。」

1. 紫 舌
2. 紅 舌
3. 青 舌
4. 淡白舌

はき 25-99 難経六十九難により腎虚の補法を行う選穴部位はどれか。

1. 上腕二頭筋腱外方の陥凹部、肘窩横紋上
2. 手関節前面横紋上で、橈骨動脈拍動部
3. 足内側、舟状骨粗面の下方、赤白肉際
4. 太溪の上方 2 寸で、アキレス腱と長指屈筋との間

はき 25-100 「31 歳の女性。主訴は頭痛と肩こり。月経は不定期で月経時に頭痛が憎悪し、下腹部痛も出現する。月経血にに血塊がみられ、舌下静脈の怒張もみられる。」本患者の痛みの特徴はどれか。

1. 夜間に痛みが増悪する。
2. だるい感じの痛みが現れる。
3. 冷やすと疼痛が軽減する。
4. 痛む部位が移動する。

はき 25-101 「31 歳の女性。主訴は頭痛と肩こり。月経は不定期で月経時に頭痛が憎悪し、下腹部痛も出現する。月経血にに血塊がみられ、舌下静脈の怒張もみられる。」本患者の病証でみられる脈状はどれか。

1. 浮いていて細軟の脈
2. ざらざらとして渋滞したような脈
3. 弾力に富み、琴の弦を按じるような脈
4. 絹糸のように細くて力があり、按じて左右に移る。

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 24) 東洋医学概論	89～101
----------------	--------

はき 24-89 陰陽学説で同じ属性の組合せはどれか。

1. 内 部 —— 上 部
2. 奇 数 —— 老 年
3. 左 側 —— 衛 気
4. 静 止 —— 急 性

はき 24-90 五行色体の組合せで正しいのはどれか。

1. 唾 —— 呻
2. 香 —— 鼻
3. 辛 —— 思
4. 爪 —— 神

はき 24-91 肺に作用して発声・呼吸を推動するのはどれか。

1. 営 気
2. 衛 気
3. 宗 気
4. 元 気

はき 24-92 五神の志を蔵するのはどれか。

1. 脾
2. 肺
3. 腎
4. 肝

はき 24-93 外邪とその特徴の組合せで正しいのはどれか。

1. 火 邪 —— 動 血
2. 風 邪 —— 収 斂
3. 湿 邪 —— 遊走性
4. 寒 邪 —— 粘滯性

はき 24-94 次の文で示す症状の病因はどれか。「2 日前から喉が痛む。鼻がつまり、頭が痛く、顔がむくむ。」

1. 風 邪
2. 湿 邪
3. 暑 邪
4. 燥 邪

はき 24-95 腎陽虚証の症状はどれか。

1. 煩 熱
2. 浮 腫
3. 不 眠
4. 口 渴

はき 24-96 病証と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 肝血虚 ————— 目の充血
2. 脾気虚 ————— 内臓下垂
3. 心陽虚 ————— 盗 汗
4. 肺陰虚 ————— 壮 熱

はき 24-97 次の文で示す経脈の病証はどれか。

「48 歳の女性。発汗、喉の腫れがあり、耳が聞こえにくく、耳鳴りが続く。」

1. 足の陽明経
2. 手の太陽経
3. 足の少陰経
4. 手の少陽経

はき 24-98 陰虚にみられる舌苔はどれか。

1. 厚 苔
2. 潤 苔
3. 膩 苔
4. 少 苔

はき 24-99 次の文で示す患者の腹診所見はどれか。

「75 歳の女性。半年前から膝に力が入らない。姿勢は前かがみで、1 回の尿量が少なく、足がむくむ。」

1. 胸脇苦満
2. 虚里の動
3. 少(小)腹急結
4. 小腹不仁

はき 24-100 次の文で示す症状に対し、難経六十九難に基づく適切な治療穴はどれか。

「食欲がなく、腹部膨満感、下痢があり、手足に無力感がある。」

1. 足関節後内側、内果尖とアキレス腱の間の陥凹部。
2. 手掌、第 5 中手指節関節の近位端と同じ高さ、第 4・第 5 中手骨間
3. 前腕、橈骨下端の橈側で外側に最も突出した部位と橈骨動脈の間、手関節掌側横紋の上方 1 寸
4. 足内側、第 1 中足指節関節の近位陥凹部、赤白肉際

はき 24-101 次の文で示す症状に用いる刺法はどれか。

「足から膝にかけて冷えがあり、水様便が出る。」

1. 短 刺
2. 偶 刺
3. 陰 刺
4. 報 刺

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 23) 東洋医学概論	89～101
----------------	--------

はき 23-89 生体リズムに関する陰陽学説で最も適切なのはどれか。

1. 陰陽消長
2. 陰陽対立
3. 陰陽制約
4. 陰陽互根

はき 23-90 後天の精から得られた水穀の悍気はどれか。

1. 胃 気
2. 営 気
3. 衛 気
4. 宗 気

はき 23-91 臓腑の働きと五華の組合せで正しいのはどれか。

1. 精を蔵する ——— 爪
2. 神を蔵する ——— 毛
3. 血を蔵する ——— 面 色
4. 営を蔵する ——— 唇

はき 23-92 元気の説明で正しいのはどれか。

1. 血とともに脈中を行く。
2. 清気とも言う。
3. 夜間に人体の陰の部を二十五周する。
4. 先天の精が変化生成したものである。

はき 23-93 経脈で表裏関係にある組合せはどれか

1. 太陰経 ——— 陽明経
2. 厥陰経 ——— 太陽経
3. 少陰経 ——— 陽明経
4. 少陽経 ——— 少陰経

はき 23-94 外邪で収斂作用をもち、皮毛を収縮させるのはどれか。

1. 風 邪
2. 湿 邪
3. 寒 邪
4. 暑 邪

はき 23-95 嘈雜がみられる病証はどれか。

1. 胃の虚熱
2. 食 滯
3. 胃の実熱
4. 脾胃の湿熱

はき 23-96 六経弁証の少陽病証でみられるのはどれか。

1. 惡 風
2. 口 苦
3. 下 痢
4. 高 熱

はき 23-97 次の文で示す経脈病証はどれか。

「上肢がひきつり、手掌のほてりがある。胸苦しく、精神的に不安定である。」

1. 肺 経
2. 心 経
3. 心包経
4. 三焦経

はき 23-98 次の文で示す患者の病証で適切なのはどれか。

「16 歳の男子。試験前になると食欲不振、腹部膨満感が起こる。腹鳴や腹痛を伴う下痢を頻発する。」

1. 脾胃の湿熱
2. 肝腎の陰虚
3. 脾腎の陽虚
4. 肝脾の不調

はき 23-99 「56 歳の男性。主訴は食欲不振。腹部の痞えや膨満感、重痛を伴う。口が粘る、口苦、臭いの強い下痢がみられる。最も適切な病証はどれか。

1. 気 滯
2. 陽 虚
3. 陰 虚
4. 湿 熱

はき 23-100 「56 歳の男性。主訴は食欲不振。腹部の痞えや膨満感、重痛を伴う。口が粘る、口苦、臭いの強い下痢がみられる。本患者の病証でみられる脈状はどれか。

1. 濇 脈
2. 滑 脈
3. 結 脈
4. 細 脈

はき 23-101 次の文で示す経脈病証に対し、難経六十九難の治療法則を考慮して施術を行う場合、最も適切な経穴はどれか。「顔色が黒ずむ、呼吸が苦しく咳がでる、立ちくらみ、食欲がない、寝ることを好んで起きたがらない。」

1. 太 溪
2. 大 都
3. 曲 泉
4. 経 渠

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 22) 東洋医学概論	92～105
----------------	--------

はき 22-92 血の説明で正しいのはどれか。

1. 衛気と共に脈中を流れる。
2. 生成に営気が関与する。
3. 量は脾が調節する。
4. 温煦作用により循環する。

はき 22-93 臓腑とその作用との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝 ————— 納気を主る
2. 大 腸 ————— 清濁を分別する。
3. 脾 ————— 昇清を主る。
4. 膀 胱 ————— 糟粕を伝化する。

はき 22-94 中焦の生理機能と関係の深いのはどれか。

1. 脾
2. 肺
3. 腎
4. 肝

はき 22-95 奇恒の腑はどれか。

1. 胃
2. 肝
3. 脾
4. 胆

はき 22-96 外邪の特徴で正しいのはどれか。

1. 暑邪は肺を傷る。
2. 湿邪は身体下部を侵す。
3. 燥邪は体表を侵す。
4. 風邪は津液を消耗する。

はき 22-97 運行が失調すると鼓脹を認めるのはどれか。

1. 営 気
2. 衛 気
3. 血
4. 津 液

はき 22-98 肝陽の上亢によるのはどれか。

1. 胖大舌
2. 吃 逆
3. 顔面紅潮
4. 小腹急結

はき 22-99 心気虚、心陽虚に共通する症状はどれか。

1. 無 汗
2. 心 悸
3. 回転性めまい
4. 四肢の冷え

はき 22-100 統血作用の失調でみられるのはどれか。

1. 秘 結
2. 崩 漏
3. 陽 萎
4. 帯 下

はき 22-101 痹証で重だるい痛みはどれか。

1. 行 痹
2. 痛 痹
3. 着 痹
4. 熱 痹

はき 22-102 次の文で示す経脈病証はどれか。「首が腫れ、後ろを振り返ることができない。難聴があり、上肢後面内側が痛む。」

1. 手の太陽小腸経
2. 手の陽明大腸経
3. 手の太陰肺経
4. 手の少陰心経

はき 22-103 心・心包の病証で多くみられるのはどれか。

1. 裏 急
2. 胸脇苦満
3. 心下痞鞭
4. 小腹急結

はき 22-104 難経六十九難の治療法則で肝虚証の治療穴はどれか。

1. 曲 泉
2. 大 敦
3. 太 衝
4. 中 封

はき 22-105 迎随の補瀉で補法はどれか。

1. 太淵穴では肘関節に向けて刺す。
2. 外関穴では手関節に向けて刺す。
3. 足臨泣穴では足関節に向けて刺す。
4. 三陰交穴では膝関節に向けて刺す。

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 21) 東洋医学概論	92～105
----------------	--------

はき21-92 五行と五香との組合せで正しいのはどれか。

1. 木 ————— 臊
2. 火 ————— 香
3. 土 ————— 腥
4. 金 ————— 腐

はき21-93 血を脈外に漏らさないようにするのはどれか。

1. 推动作用
2. 温煦作用
3. 気化作用
4. 固摂作用

はき21-94 生体の活力として働く気の類に含まれるのはどれか。

1. 血
2. 精
3. 魂
4. 体

はき21-95 五臓と五主との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝 ————— 皮 毛
2. 心 ————— 筋
3. 脾 ————— 肌 肉
4. 肺 ————— 血 脈

はき21-96 脾の生理機能はどれか。

1. 精を蔵す
2. 運化を主る。
3. 目に開竅する。
4. 液は汗である。

はき21-97 胆と表裏関係にある臓の生理機能はどれか。

1. 血を蔵す。
2. 気を主る。
3. 腐熟を主る。
4. 水を主る。

はき21-98 外邪で遊走性の痛みを起こすのはどれか。

1. 風 邪
2. 湿 邪
3. 火 邪
4. 燥 邪

はき21-99 胃気の上逆でみられるのはどれか。

1. 喘
2. 嘔
3. 欠
4. 吃 逆

はき21-100 気が逆行して起こる病の総称はどれか。

1. 積 聚
2. 痹
3. 厥
4. 疝

はき21-101 腎精の不足が最も疑われるのはどれか。

1. 息切れ
2. 不妊
3. 目のかすみ
4. 食欲不振

はき21-102 肺の病証でみられるのはどれか。

1. 暑くなくても汗が出る。
2. 臓腑が下垂する。
3. 腹痛のない下痢が起こる。
4. よくため息が出る。

はき21-103 陰虚による舌質の色はどれか。

1. 淡白舌
2. 淡紅舌
3. 紅 舌
4. 紫 舌

はき21-104 だるい痛みはどれか。

1. 刺 痛
2. 隠 痛
3. 脹 痛
4. 酸 痛

はき21-105 虚証でみられるのはどれか。

1. 緊 脈
2. 滑 脈
3. 細 脈
4. 洪 脈

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 20) 東洋医学概論	92～105
----------------	--------

はき 20-92 五行色体で相剋関係にある組合せはどれか。

1. 焦 ————— 臊
2. 面 ————— 唇
3. 憂 ————— 噦
4. 汗 ————— 涕

はき 20-93 津液について正しい記述はどれか。

1. 津液は腎と膀胱で生成される。
2. 津液の代謝機構を三焦気化という。
3. 津液は経脈を通じて全身に流れる。
4. 津液が停滞する病理変化を津傷という。

はき 20-94 所見と病証との組み合わせで正しいのはどれか。

1. 隠 痛 ————— 陰実証
2. 潮 熱 ————— 陽実証
3. 盗 汗 ————— 陰虚証
4. 拒 按 ————— 陽虚証

はき 20-95 五志に含まれないのはどれか。

1. 悲
2. 恐
3. 怒
4. 喜

はき 20-96 食滞について誤っている記述はどれか。

1. 食を嫌う。
2. 吞酸がある。
3. 大便に酸臭がある。
4. 消渴が起こる。

はき 20-97 次の文で示す経脈病証に用いる経穴について適切なのはどれか。

「舌の根元の痛み、腹部膨満感、下痢、全身倦怠感、下肢内側の痛み。」

1. 太 溪
2. 衝 陽
3. 太 白
4. 侠 溪

はき 20-98 一定の時刻に発熱する特徴をもつのはどれか。

1. 壮熱
2. 潮熱
3. 但熱不寒
4. 往来寒熱

はき 20-99 「45歳の男性。首や肩のこりが強く、寝汗をよくかき熟睡できない。便が硬く排便しづらい。」
最も考えられる病証はどれか。

1. 気虚証
2. 血虚証
3. 陽虚証
4. 陰虚証

はき 20-100 「45歳の男性。首や肩のこりが強く、寝汗をよくかき熟睡できない。便が硬く排便しづらい。」
この患者の舌の所見と脈状との組合せで正しいのはどれか。

1. 胖舌 ——— 結脈
2. 瘦舌 ——— 滑脈
3. 紅舌 ——— 細脈
4. 淡舌 ——— 弦脈

はき 20-101 季肋部で診る腹証はどれか。

1. 心下痞鞭
2. 胸脇苦満
3. 裏急
4. 小腹急結

はき 20-102 「頭痛、首と肩がこる、手足の関節が痛む、厚着をしても寒い、微熱、薄白苔、緊脈。」
最も考えられる病証はどれか。

1. 表熱
2. 裏熱
3. 表寒
4. 裏寒

はき 20-103 「頭痛、首と肩がこる、手足の関節が痛む、厚着をしても寒い、微熱、薄白苔、緊脈。」
この患者の症状として正しいのはどれか。

1. 口渇
2. 食欲不振
3. 無汗
4. 泄瀉

はき 20-104 九変に応ずる刺法で筋痺のときに圧痛点へ刺すのはどれか。

1. 焔 刺
2. 絡 刺
3. 輸 刺
4. 経 刺

はき 20-105 難経六十九難の法則で脾虚証に補法を行う経穴はどれか。

1. 至 陰
2. 大 都
3. 復 溜
4. 曲 泉

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 19) 東洋医学概論	92～105
----------------	--------

はき 19-92 「陰が不足すれば陽が優勢となり、陽が不足すれば陰が優勢となる」を表現するのはどれか。

1. 陰陽互根
2. 陰陽消長
3. 陰陽転化
4. 陰陽制約

はき 19-93 次の組合せのうち各々が属する五行が相剋関係にあるのはどれか。

1. 唾 ——— 涙
2. 坐 ——— 臥
3. 魄 ——— 魂
4. 握 ——— 憂

はき 19-94 脾虚の症状はどれか。

1. 陽 萎
2. 軟便下痢
3. 咳 嗽
4. 目のかすみ

はき 19-95 次の文で示す経脈病証はどれか。「顔面の麻痺、下腿前面外側と足背の痛み。」

1. 大腸経
2. 胃 経
3. 胆 経
4. 肝 経

はき 19-96 次の文で示す経脈病証はどれか。「耳鳴りがして音が聞こえにくい。目尻から頬にかけて痛み、発汗を呈する。」

1. 小腸経
2. 胆 経
3. 三焦経
4. 腎 経

はき 19-97 「55歳の女性。皮下出血しやすく、皮膚はかさつき、腹が脹る。月経時に血塊を伴う。」最も考えられる病証はどれか。

1. 水 滯
2. 血 虚
3. 気 逆
4. 瘀 血

はき 19-98 「55歳の女性。皮下出血しやすく、皮膚はかさつき、腹が脹る。月経時に血塊を伴う。」
この患者の舌証として正しいのはどれか。

1. 紫 舌
2. 燥 苔
3. 胖 舌
4. 灰 苔

はき 19-99 津液の不足による症状はどれか。

1. 小便自利
2. 目 眩
3. 口 渴
4. 自 汗

はき 19-100 六経病証の頭痛分類で正しい組合せはどれか。

1. 頭頂部 ————— 厥陰経頭痛
2. 前頭部 ————— 太陽経頭痛
3. 後頭部 ————— 少陽経頭痛
4. 側頭部 ————— 陽明経頭痛

はき 19-101 所見と病証との組合せで正しいのはどれか。

1. 口 淡 ————— 脾気虚証
2. 口 苦 ————— 脾陽虚証
3. 厭 食 ————— 胃寒証
4. 消穀善飢 ————— 脾気虚証

はき 19-102 八綱病証で実証はどれか。

1. 疼痛部を押すと痛みが増強する。
2. 長期間微熱が続いている。
3. 小便の回数が多い。
4. 鈍痛が持続している。

はき 19-103 施灸で補法はどれか。

1. 取穴数を多くする。
2. 間を置かず施灸する。
3. 艾炷を強く押しつけて置く。
4. 艾炷の底面を小さくする。

はき 19-104 六部定位脈診で左手尺中の沈が虚している場合、難経六十九難に基づく配穴で適切な組合せはどれか。

1. 中 衝 ————— 大 敦
2. 尺 沢 ————— 陰 谷
3. 陰 谷 ————— 曲 泉
4. 經 渠 ————— 復 溜

はき 19-105 迎隨の補瀉で補法はどれか。

1. 孔最に肘関節に向けて刺す。
2. 地機に足関節に向けて刺す。
3. 三陽絡に手関節に向けて刺す。
4. 陰市に膝関節に向けて刺す。

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 18) 東洋医学概論	92～105
----------------	--------

はき 18-92 五行色体の組合せで誤っているのはどれか。

1. 辛 ————— 鼻
2. 焦 ————— 咳
3. 歌 ————— 宮
4. 液 ————— 唾

はき 18-93 肺の生理作用で誤っているのはどれか。

1. 気を主る。
2. 宣発を主る。
3. 納気を主る。
4. 皮毛を主る。

はき 18-94 外邪とその性質との組合せで誤っているのはどれか。

1. 湿 邪 ————— 脾胃を犯しやすい。
2. 寒 邪 ————— 内風を生じる。
3. 暑 邪 ————— 気と津液を消耗する。
4. 風 邪 ————— 衛気を犯し、変化しやすい。

はき 18-95 次の文で示す患者の病証として適切なのはどれか。

「38歳の男性。半年前の失職以来、不安と不眠がある。起立時のめまいと軽度の動悸とを訴えている。」

1. 脾陽虚証
2. 肝陰虚証
3. 心血虚証
4. 腎気虚証

はき 18-96 脾の病証でみられないのはどれか。

1. 軟 便
2. 咽喉の閉塞感
3. 崩 漏
4. 全身倦怠感

はき 18-97 喉の腫れ、鼻出血および下の歯の痛みを呈する経脈病証はどれか。

1. 大腸経
2. 膀胱経
3. 三焦経
4. 胆 経

はき 18-98 腎經の經脈病証の所見として適切でないのはどれか。

1. 立ちくらみ
2. 足底のほてり
3. 季肋部のつかえ
4. 血 痰

はき 18-99 「おくび」について正しい記述はどれか。

1. 肺氣が鼻に上衝して起こる。
2. 胃氣の上逆によって起こる。
3. 労倦で起こる。
4. 宿食で起こる。

はき 18-100 痛みの性質と病証との組合せで誤っているのはどれか。

1. 酸 痛 ————— 虚 証
2. 重 痛 ————— 湿 証
3. 刺 痛 ————— 血 瘀
4. 隠 痛 ————— 氣 滯

はき 18-101 季節と脈状との組合せで正しいのはどれか。

1. 春 ————— 緩 脈
2. 夏 ————— 洪 脈
3. 秋 ————— 石 脈
4. 冬 ————— 毛 脈

はき 18-102 目のかすみ、めまい、脇部の隠痛および手足のふるえを呈する病証で最も考えられる舌質はどれか。

1. 淡白舌
2. 淡紅舌
3. 紅 舌
4. 紫 舌

はき 18-103 十二刺に含まれないのはどれか。

1. 浮 刺
2. 直鍼刺
3. 賛 刺
4. 大瀉刺

はき 18-104 瀉法はどれか。

1. 艾炷に風を送って燃やす。
2. 灰の上から施灸する。
3. 前揉捻してから刺鍼する。
4. 抜鍼後、鍼孔を閉じる。

はき 18-105 補瀉迎随による経穴刺鍼で瀉法となるのはどれか。

1. 尺沢へは手関節の方向に向けて刺す。
2. 陽谿へは肘関節の方向に向けて刺す。
3. 委中へは足関節の方向に向けて刺す。
4. 陰谷へは足関節の方向に向けて刺す。

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 17) 東洋医学概論	92～105
----------------	--------

はき 17-92 陰陽の分類について正しい組合せはどれか。

1. 血 ————— 陽
2. 営 ————— 陰
3. 津 ————— 陰
4. 腹 ————— 陽

はき 17-93 臓腑とその生理作用について正しい組合せはどれか。

1. 肺 ————— 治節を主る。
2. 心 包 ————— 血を蔵す。
3. 胆 ————— 清濁を分別する。
4. 胃 ————— 糟粕を伝化する。

はき 17-94 五行色体に基づく肝の症状で誤っている記述はどれか。

1. 顔色が青い。
2. 涙がよく出る。
3. うなり声が出る。
4. 爪が変形する。

はき 17-95 奇恒の腑に属するのはどれか。

1. 骨
2. 筋
3. 肉
4. 皮

はき 17-96 寒邪の特徴でないのはどれか。

1. 収斂作用をもつ。
2. 気血を阻滞する。
3. 遊走性をもつ。
4. 陰性の外邪である。

はき 17-97 病邪と損傷する対象との組合せで正しいのはどれか。

1. 燥 邪 ————— 血
2. 火 邪 ————— 気
3. 湿 邪 ————— 津 液
4. 風 邪 ————— 営 気

はき 17-98 熱証にみられないのはどれか。

1. 鼾 声
2. 月経先期
3. 小便自利
4. 口 渴

はき 17-99 四肢の冷え、胸痛、畏寒を示す病証はどれか。

1. 肝陰虚
2. 腎陰虚
3. 心陽虚
4. 脾陽虚

はき 17-100 胸苦しさと手掌のほてりを呈する経脈病証の所見で適切でないのはどれか。

1. 頭 痛
2. 咽の渇き
3. 腋の腫れ
4. 前腕の痛み

はき 17-101 八裏の脈はどれか。

1. 伏 脈
2. 代 脈
3. 緊 脈
4. 短 脈

はき 17-102 右肩関節痛に対して左肩に刺鍼する刺法はどれか。

1. 遠道刺
2. 絡 刺
3. 毛 刺
4. 巨 刺

はき 17-103 難経六十九難に基づく腎虚証の治療穴の部位はどれか。

1. 太谿の上方3寸でアキレス腱の前
2. 神門の上方1寸5分で尺側手根屈筋腱の橈側
3. 膝窩横紋の内端で半腱様筋腱と半膜様筋腱の間
4. 太淵の上方1寸で橈骨動脈の拍動部

はき 17-104 「咽喉の閉塞感、怒りっぽい、抑うつ、胸脇苦満」最も考えられる脈状はどれか。

1. 濡 脈
2. 弦 脈
3. 濇 脈
4. 結 脈

はき 17-105 「咽喉の閉塞感、怒りっぽい、抑うつ、胸脇苦満」本病証に用いる鍼の補瀉法で適切なのはどれか。

1. 細い鍼を用いる。
2. 経穴をよく按じてから刺入する。
3. 呼気に刺入し、吸気に抜鍼する。
4. 抜鍼後、鍼孔を指で塞がない。

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 16) 東洋医学概論	92～105
----------------	--------

はき 16-92 東洋医学の考え方で誤っているのはどれか。

1. 随証療法
2. 心身二元論
3. 整体観
4. 天人合一説

はき 16-93 五行色体の組合せで誤っているのはどれか。

1. 沸 ————— 五 香
2. 立 ————— 五 労
3. 辛 ————— 五 味
4. 微 ————— 五 音

はき 16-94 衛気について誤っているのはどれか。

1. 腠理を開闔する。
2. 脈外をめぐる。
3. 分肉を温める。
4. 陰性の気である。

はき 16-95 腹痛、喜按、畏寒、四肢の冷えがみられる脾の病証はどれか。

1. 脾陽虚
2. 脾陰虚
3. 脾气虚
4. 脾胃湿熱

はき 16-96 呼吸に関与しているのはどれか。

1. 肝
2. 腎
3. 脾
4. 心

はき 16-97 鼻に開竅する臓の作用で正しいのはどれか。

1. 清濁を分ける。
2. 納気を主る。
3. 治節を主る。
4. 昇清を主る。

はき 16-98 顔面と舌の五臓配当で正しい組合せはどれか。

1. オトガイ ————— 舌 根
2. 鼻 ————— 舌 尖
3. 左の頬 ————— 舌 中
4. 右の頬 ————— 舌 辺

はき 16-99 次の文で示す病証から最も考えられる邪気はどれか。

「冷たいビールを飲み、そのままクーラーの効いた部屋で寝て、下痢をした。」

1. 寒 邪
2. 燥 邪
3. 風 邪
4. 湿 邪

はき 16-100 虚証にみられないのはどれか。

1. 酸 痛
2. 黄 苔
3. 盜 汗
4. 喜 温

はき 16-101 五臓の病証で誤っている組合せはどれか。

1. 心 ————— 贍 語
2. 脾 ————— 脱 肛
3. 肺 ————— 陽 萎
4. 腎 ————— 五更泄瀉

はき 16-102 次の文で示す経脈病証はどれか。「口が苦い、缺盆の部分と腋窩が腫れ、膝の外側が痛む。」

1. 腎 経
2. 胃 経
3. 脾 経
4. 胆 経

はき 16-103 次の文で示す奇経八脈病証はどれか。

「腹がはり、腰は弛緩して、力が入らず、水の中に座っているような無力と寒気を覚える。」

1. 督 脈
2. 任 脈
3. 衝 脈
4. 帶 脈

はき 16-104 古代九鍼で按圧するのはどれか。

1. 員利鍼
2. 長 鍼
3. 員 鍼
4. 大 鍼

はき 16-105 十二刺のうち、患部に一鍼、その傍に一鍼ずつ刺す刺法はどれか。

1. 恢 刺
2. 揚 刺
3. 報 刺
4. 齊 刺

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 15) 東洋医学概論	92～105
----------------	--------

はき 15-92 五臓と五役との組合せで正しいのはどれか。

1. 腎 ————— 声
2. 肺 ————— 色
3. 肝 ————— 味
4. 心 ————— 臭

はき 15-93 五臓と五労との組合せで誤っているのはどれか。

1. 肺 ————— 久しく臥す。
2. 肝 ————— 久しく視る。
3. 脾 ————— 久しく坐す。
4. 腎 ————— 久しく立つ。

はき 15-94 血について誤っている記述はどれか。

1. 肝に貯蔵される。
2. 営気とともに脈中をめぐる。
3. 心によって推動される。
4. 脾が各器官に配分する。

はき 15-95 臓腑について誤っている組合せはどれか。

1. 腎 ————— 二陰に開竅する。
2. 胆 ————— 作強の官である。
3. 胃 ————— 腐熟を主る。
4. 肺 ————— 水道を主る。

はき 15-96 飲食物の伝化・排泄に直接関与しないのはどれか。

1. 胆
2. 小 腸
3. 三 焦
4. 胃

はき 15-97 三焦について誤っているのはどれか。

1. 皮膚に潤いを与える。
2. 体温を調節する。
3. 体液を心へ運搬する。
4. 衛気を全身にめぐらせる。

はき 15-98 経絡について誤っている記述はどれか。

1. 経絡は経脈、絡脈、孫絡で構成される。
2. 経脈は奇経八脈、十二経別をも含んでいる。
3. 十二経脈は三陰三陽に分類される。
4. 奇経八脈は表裏関係を有する。

はき 15-99 臓腑と病因との組合せで誤っているのはどれか。

1. 肝 ————— 扇風機をかけたまま眠った。
2. 心 ————— 炎天下で農作業をした。
3. 脾 ————— 受験のためにイライラした。
4. 腎 ————— 不審者に追いかけられた。

はき 15-100 陽虚の症状で適切でないのはどれか。

1. 小便不利
2. 四肢厥冷
3. 自 汗
4. 畏 寒

はき 15-101 肺の病証にみられないのはどれか。

1. 無 汗
2. 湿 疹
3. 梅核気
4. 短 気

はき 15-102 次の文で示す臓腑の病証はどれか。「食後の腹脹、下痢、腹鳴がある。」

1. 胆
2. 膀 胱
3. 小 腸
4. 三 焦

はき 15-103 六経病証について正しい組合せはどれか。

1. 少陽経病 ————— 陰囊が縮む。
2. 太陰経病 ————— 咽喉が渴く。
3. 少陰経病 ————— 難聴が起こる。
4. 厥陰経病 ————— 腰背が強ばる。

はき 15-104 古代刺法で兪募配穴に発展したのはどれか。

1. 偶 刺
2. 揚 刺
3. 報 刺
4. 傍鍼刺

はき 15-105 九変に応じる刺法について誤っている組合せはどれか。

1. 毛 刺 ————— 皮膚に浮痺があるとき
2. 分 刺 ————— 筋肉に邪気があるとき
3. 遠道刺 ————— 病が上部にあるとき
4. 輸 刺 ————— 深部に熱があるとき

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 14) 東洋医学概論	95～109
----------------	--------

はき 14-95 五体色体の組合せで正しいのはどれか。

1. 青 ————— 舌
2. 秋 ————— 思
3. 甘 ————— 骨 髄
4. 暑 ————— 微

はき 14-96 臓腑とその付着部で正しい組合せはどれか。

1. 胃 ————— 第9胸椎
2. 肝 ————— 第10胸椎
3. 脾 ————— 第11胸椎
4. 胆 ————— 第12胸椎

はき 14-97 小腸について誤っているのはどれか。

1. 受盛の官である。
2. 闌門で大腸に連なる。
3. 清濁を分ける。
4. 中焦に属する。

はき 14-98 心について正しいのはどれか。

1. 決断を主る。
2. 君主の官である。
3. 営を蔵する。
4. 四肢を主る。

はき 14-99 聞診で診るのはどれか。

1. 五 主
2. 五 香
3. 五 味
4. 五 液

はき 14-100 舌診で舌尖部に配当されるのはどれか。

1. 脾
2. 肝
3. 心
4. 腎

はき 14-101 外邪で動きが遅く停滞する性質をもつのはどれか。

1. 燥 邪
2. 湿 邪
3. 熱 邪
4. 風 邪

はき 14-102 胃熱による症状はどれか。

1. 梅核気
2. 心下痞
3. 消穀善飢
4. 五更泄瀉

はき 14-103 四肢のふるえとめまいとが共にみられる病証はどれか。

1. 肝血虚
2. 脾気虚
3. 肺陰虚
4. 腎陽虚

はき 14-104 半表半裏証でみられないのはどれか。

1. 往来寒熱
2. 胸脇苦満
3. 悪 風
4. 口が苦い

はき 14-105 次の文で示す経絡病証はどれか。「腰が痛み、季肋部が張って苦しく、顔色は青黒い。」

1. 小腸経
2. 脾 経
3. 肝 経
4. 三焦経

はき 14-106 五臓とその症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 肝 ————— 汗をよくかく
2. 脾 ————— 筋肉がやせる
3. 肺 ————— 体臭が生臭い
4. 心 ————— 顔色が赤い

はき 14-107 三陰三陽六病位と体幹の部位との組合せで誤っているのはどれか。

1. 厥 陰 ————— 側面の裏
2. 太 陽 ————— 背面の表
3. 陽 明 ————— 腹面の表
4. 太 陰 ————— 背面の裏

はき 14-108 十二刺で筋痺の治療に用いる刺法はどれか。

1. 賛 刺
2. 揚 刺
3. 報 刺
4. 恢 刺

はき 14-109 五刺について正しい組合せはどれか。

1. 輸 刺 ————— 骨
2. 関 刺 ————— 血 脈
3. 豹文刺 ————— 肌 肉
4. 合谷刺 ————— 筋

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 13) 東洋医学概論	97～111
----------------	--------

はき 13-97 気について誤っている記述はどれか。

1. 衛気は水穀の精気のことをいう。
2. 真気は温煦作用を持つ。
3. 宗気は胸中に集まる。
4. 営気は血とともに脈中を流れる。

はき 13-98 陰陽関係で、陰極まれば陽となり、陽極まれば陰となる法則はどれか。

1. 陰陽可分
2. 陰陽転化
3. 陰陽消長
4. 陰陽互根

はき 13-99 経脈における五行の関係について誤っている記述はどれか。

1. 腎経の母経は肺経である。
2. 膀胱経の子経は胆経である。
3. 肺経の相剋の経は脾経である。
4. 心経の相生の経は肝経である。

はき 13-100 肺の臓について正しいのはどれか。

1. 第3胸椎に付く。
2. 口唇に開竅する。
3. 作強の官である。
4. 統血を主る。

はき 13-101 五声と五音との組合せで正しいのはどれか。

1. 呼 ————— 羽
2. 言 ————— 角
3. 歌 ————— 徵
4. 哭 ————— 商

はき 13-102 昇清を主るのはどれか。

1. 肝
2. 心
3. 脾
4. 肺

はき 13-103 三焦について正しいのはどれか。

1. 第12胸椎に付着する。
2. 伝導の官である。
3. 納気を主る。
4. 気血津液を調整する。

はき 13-104 五心煩熱がみられるのはどれか。

1. 気 虚
2. 陽 虚
3. 血 虚
4. 陰 虚

はき 13-105 経絡病証で背骨のこわばり、頭痛の症状を呈するのはどれか。

1. 督 脈
2. 任 脈
3. 衝 脈
4. 帶 脈

はき 13-106 六部定位脈診において左関上で診る臓腑はどれか。

1. 肝と胆
2. 心包と三焦
3. 肺と大腸
4. 脾と胃

はき 13-107 六経病証で病邪が最後に達するのはどれか。

1. 太陰経
2. 厥陰経
3. 陽明経
4. 少陽経

はき 13-108 次の文で示す経路病証はどれか。「咳が出て胸苦しく、胸に熱感があり息切れし、手掌がほてる。」

1. 心 経
2. 脾 経
3. 肺 経
4. 腎 経

はき 13-109 鍼治療の補瀉で正しい記述はどれか。

1. 抜鍼後に鍼孔を押さえるのは瀉である。
2. 経絡の流注方向に沿って刺入するのは補である。
3. 太い鍼を用いるのは補である。
4. 呼気に刺入し、吸気に抜鍼するのは瀉である。

はき 13-110 鉋鍼を用いる古代刺法はどれか。

1. 焔 刺
2. 傍鍼刺
3. 絡 刺
4. 大瀉刺

はき 13-111 古代刺法で毛刺が含まれるのはどれか。

1. 十二刺
2. 九 刺
3. 五 刺
4. 三 刺

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 12) 東洋医学概論	97～111
----------------	--------

はき 12-97 東洋医学の特色で適切でないのはどれか。

1. 本治による治療では奇穴を用いる。
2. 四診によって証の決定を行う。
3. 虚実に基づいて補瀉を施す。
4. 未病を治す。

はき 12-98 五行論で誤っている記述はどれか。

1. 五行論は陰陽論を含む。
2. 相生と相剋の法則がある。
3. 難経六十九難による治療法に活用される。
4. 色体表は臓腑の病変の診断に応用される。

はき 12-99 外邪に対する防御的役割をするのはどれか。

1. 宗 気
2. 経 気
3. 衛 気
4. 営 気

はき 12-100 津液について誤っているのはどれか。

1. 心により代謝が促進される。
2. 水穀から分離される。
3. 体温調節に関与する。
4. 皮膚を潤す。

はき 12-101 臓腑と開竅部との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝 ————— 口 唇
2. 心 ————— 舌
3. 脾 ————— 耳
4. 腎 ————— 目

はき 12-102 臓腑と生理作用との組合せで正しいのはどれか。

1. 肺 ————— 運 化
2. 腎 ————— 統 血
3. 小 腸 ————— 清濁の分別
4. 胆 ————— 水穀の受納

はき 12-103 外因で体重節痛を引き起こすのはどれか。

1. 風 邪
2. 寒 邪
3. 湿 邪
4. 燥 邪

はき 12-104 七情で腎を傷めるのはどれか。

1. 怒
2. 思
3. 悲
4. 恐

はき 12-105 虚証の症状で適切でないのはどれか。

1. 短 気
2. 自 汗
3. 下 痢
4. 拒 按

はき 12-106 次の文で示す病証に関係する臓はどれか。

「手足の筋のひきつれ、季肋部痛、めまいや目の乾燥がある。」

1. 心
2. 肝
3. 肺
4. 腎

はき 12-107 次の文で示す是動病の経脈はどれか。

「食するともし、胃部が痛み、腹が張る。よくおくびし、放屁すればすっきりする。全身が重く感じる。」

1. 大腸経
2. 胃 経
3. 肺 経
4. 脾 経

はき 12-108 次の文で示す経絡病証について適切なのはどれか。

「目の痛みが強く、頭痛もある。背中は張って腰は折れんばかりに痛み、下腿後面の筋がひきつれる。」

1. 肝 経
2. 膀胱経
3. 胆 経
4. 腎 経

はき 12-109 陽蹻脈病証の症状はどれか。

1. 月経異常
2. 目の痛み
3. 排尿障害
4. 下 痢

はき 12-110 古代九鍼で「皮膚を破る鍼」とされているのはどれか。

1. 鋒 鍼
2. 毫 鍼
3. 大 鍼
4. 鍤 鍼

はき 12-111 五臓五刺で正しい組合せはどれか。

1. 脾 ————— 半 刺
2. 肺 ————— 関 刺
3. 肝 ————— 合谷刺
4. 腎 ————— 輪 刺

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 11) 東洋医学概論	97～111
----------------	--------

はき 11-97 陰陽法則で陰陽消長を表現しているのはどれか。

1. 陰中に陽あり、陽中に陰あり。
2. 陰極まれば陽となり、陽極まれば陰となる。
3. 陰虚すれば陽実し、陽虚すれば陰実す。
4. 陰実するときは陽も実し、陰虚するときは陽も虚す。

はき 11-98 五臓と五香との組合せで正しいのはどれか。

1. 心 ————— 香
2. 脾 ————— 腥
3. 肺 ————— 焦
4. 腎 ————— 腐

はき 11-99 宗気について適切なのはどれか。

1. 胸中に宿る。
2. 脈外をめぐる。
3. 経絡の機能を維持する。
4. 栄養を主る。

はき 11-100 奇恒の腑に属するのはどれか。

1. 胆
2. 小 腸
3. 胃
4. 大 腸

はき 11-101 五臓とその役割との組合せで正しいのはどれか。

1. 心 ————— 臣使の官
2. 脾 ————— 伝導の官
3. 肺 ————— 相傳の官
4. 腎 ————— 中正の官

はき 11-102 五臓の生理機能について誤っている記述はどれか。

1. 肝は筋を主る。
2. 心は血脈を主る。
3. 脾は運化を主る。
4. 肺は統血を主る。

はき 11-103 肝について正しいのはどれか。

1. 体温調節を行う。
2. 第5胸椎に付着する。
3. 鼻に開竅する。
4. 魂を蔵す。

はき 11-104 次の文で示す経絡病証について適切なのはどれか。

「のどが渇き、側胸部が痛む。上肢の前面内側がしびれて痛み、手掌が熱をもって痛む。」

1. 三焦経
2. 心 経
3. 肺 経
4. 小腸経

はき 11-105 気滞の症状はどれか。

1. 手足のしびれ
2. 脹 痛
3. 出 血
4. 目のかすみ

はき 11-106 腎の症状として誤っているのはどれか。

1. 耳鳴り
2. 目の充血
3. 四肢の冷え
4. 性欲減退

はき 11-107 陰虚証の症状でないのはどれか。

1. 潮 熱
2. 手足のほてり
3. 自 汗
4. 盗 汗

はき 11-108 補の施灸法として誤っているのはどれか。

1. 灰を取らずに施灸する。
2. 底面を狭くする。
3. 自然に燃やす。
4. 皮膚に密着させる。

はき 11-109 東洋医学の治療について誤っている記述はどれか。

1. 標治法は経絡の変動を調整する。
2. 弁証施治は八綱病証を用いる。
3. 補瀉は虚実に応じて行う。
4. 正治とは順証に対する治法である。

はき 11-110 十二刺の刺法で正しい組合せはどれか。

1. 骨痺を治す ————— 短 刺
2. 寒痺を治す ————— 偶 刺
3. 心痺を治す ————— 恢 刺
4. 筋痺を治す ————— 浮 刺

はき 11-111 遠道刺の刺法はどれか。

1. 病、分肉にあればその間を刺す。
2. 病、右にあれば左に取る。
3. 病、上にあれば下に取る。
4. 病、体表にあれば皮毛を刺す。

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 10) 東洋医学概論	97～111
----------------	--------

はき 10-97 臓腑とその生理作用との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝 ————— 神を蔵す。
2. 心 ————— 血を蔵す。
3. 胆 ————— 営を蔵す。
4. 腎 ————— 精を蔵す。

はき 10-98 血について誤っているのはどれか。

1. 営気と共に脈中を流れる。
2. 後天の精から造られる
3. 体表部を潤し体温調節に関与する。
4. 肝、心との関係が深い。

はき 10-99 五臓と五主との組合せで正しいのはどれか。

1. 心 ————— 筋
2. 肝 ————— 血 脈
3. 腎 ————— 皮 毛
4. 脾 ————— 肌 肉

はき 10-100 五行の土に属さないのはどれか。

1. 香ばしい
2. 涎
3. 黄 色
4. 辛 み

はき 10-101 脾の病証として適切でないのはどれか。

1. 全身倦怠感
2. 消化不良
3. 性欲減退
4. 腹部膨満感

はき 10-102 八綱病証で疾病の性質を示すのはどれか。

1. 表 裏
2. 寒 熱
3. 虚 実
4. 陰 陽

はき 10-103 肝を傷る七情はどれか。

1. 喜
2. 憂
3. 恐
4. 怒

はき 10-104 次の病証を示す経絡はどれか。

「空腹でも食欲がなく膝から下が冷える。腰痛があつて臥すことを好む。」

1. 足の太陰脾経
2. 足の少陽胆経
3. 足の少陰腎経
4. 足の陽明胃経

はき 10-105 胸脇苦満を呈する臓はどれか。

1. 肝
2. 心
3. 肺
4. 腎

はき 10-106 四季と脈状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 春 ————— 緩 脈
2. 夏 ————— 洪 脈
3. 秋 ————— 毛 脈
4. 冬 ————— 石 脈

はき 10-107 六部定位脈診で腎を診る方法はどれか。

1. 右の寸口を浮かせて診る。
2. 左の関上を沈めて診る。
3. 右の関上を浮かせて診る。
4. 左の尺中を沈めて診る。

はき 10-108 六部定位脈診で左手関上の沈が虚している場合、難経六十九難に基づく治療穴で適切なのはどれか。

1. 曲 泉と陰 谷
2. 勞 宮と大 都
3. 太 淵と太 白
4. 復 溜と經 渠

はき 10-109 五臓五刺で鍼を深く刺入し、骨痺を取る刺法はどれか。

1. 関 刺
2. 半 刺
3. 輸 刺
4. 合谷刺

はき 10-110 患部の左右反対側に治療する刺法を含むのはどれか。

1. 三 刺
2. 五 刺
3. 九 刺
4. 十二刺

はき 10-111 陽実証に対する刺法で適切なのはどれか。

1. 抜鍼後に直ちに鍼孔を閉じる。
2. 速刺速抜で刺鍼する。
3. 経気の流れに沿って刺鍼する。
4. 呼気時に刺入し、吸気時に抜く。

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 9) 東洋医学概論	97～111
---------------	--------

はき 9-97 肺の生理作用はどれか。

1. 疏 泄
2. 統 血
3. 宣 散
4. 納 気

はき 9-98 五臓と五味との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝 ————— 辛
2. 心 ————— 酸
3. 脾 ————— 甘
4. 肺 ————— 苦

はき 9-99 五臓の相生関係で正しい記述はどれか。

1. 肝は肺の子である。
2. 脾は心の母である。
3. 肺は心の子である。
4. 腎は肝の母である。

はき 9-100 次の文で示す病証を呈する経絡はどれか。「前胸部から心下部への圧迫感、腹部膨満感があり、下肢内側の腫れと痛み、足の母指の麻痺がある。」

1. 足の太陰脾経
2. 足の太陽膀胱経
3. 足の陽明胃経
4. 足の少陽胆経

はき 9-101 次の病証を示す臓腑はどれか。「発育の遅れ、難聴、不眠、内臓下垂」

1. 肝
2. 胃
3. 肺
4. 腎

はき 9-102 熱証の特徴でないのはどれか。

1. 発 汗
2. 動 悸
3. 下 痢
4. 口 渴

はき 9-103 病因についての記述で適切でないのはどれか。

1. 房事過多は腎をおかしやすい。
2. 湿邪は心をおかしやすい。
3. 飲食労倦は脾をおかしやすい。
4. 風邪は肝をおかしやすい。

はき 9-104 腹診で誤っている記述はどれか。

1. 胸脇苦満は心実証でみられる。
2. 五臓診では肝の状態は臍の左側で診る。
3. 上実下虚の腹は脾実腎虚にみられる。
4. 天枢穴では大腸の異常を診る。

はき 9-105 九道の脈はどれか。

1. 細 脈
2. 浮 脈
3. 弦 脈
4. 遅 脈

はき 9-106 八綱のうち病証を総括するのはどれか。

1. 陰 陽
2. 虚 実
3. 寒 熱
4. 表 裏

はき 9-107 脈についての記述で誤っているのはどれか。

1. 臍下丹田の動悸で先天の原気を診る。
2. 虚里の動で腎の働きを診る。
3. 四季の移り変わりに応じて変動する。
4. 祖脈は脈状の基本である。

はき 9-108 五臓五刺で心に応ずる刺法はどれか。

1. 合谷刺
2. 半 刺
3. 豹文刺
4. 輪 刺

はき 9-109 迎随の補瀉で瀉法となるのはどれか。

1. 太白穴に踵の方向に向けて刺す。
2. 復溜穴に足関節の方向に向けて刺す。
3. 経渠穴に手関節の方向に向けて刺す。
4. 陽池穴に肘関節の方向に向けて刺す。

はき 9-110 陰陽の邪気を出し、水穀の気の循環を良くする刺法はどれか。

1. 十二刺
2. 九 刺
3. 五 刺
4. 三 刺

はき 9-111 難経六十九難で太淵と太白に補法を行うのはどれか。

1. 肝虚証
2. 心虚証
3. 脾虚証
4. 肺虚証

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 8) 東洋医学概論	97～111
---------------	--------

はき 8-97 陰陽のリズム現象はどれか。

1. 陰陽可分
2. 陰陽転化
3. 陰陽消長
4. 陰陽制約

はき 8-98 神を蔵し君主の官といわれるのはどれか。

1. 肝
2. 心
3. 肺
4. 腎

はき 8-99 血を脈外に漏らさないようにするのはどれか。

1. 固摂作用
2. 温煦作用
3. 防御作用
4. 推动作用

はき 8-100 五臓と五志との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝 ————— 思
2. 脾 ————— 喜
3. 肺 ————— 怒
4. 腎 ————— 恐

はき 8-101 血を生成し、血とともに脈中をめぐる気はどれか。

1. 営 気
2. 清 気
3. 臓 気
4. 衛 気

はき 8-102 次の文で示す症状はどの経絡病証か。

「空腹感はあるが食欲はなく、顔色は黒ずみ、呼吸が苦しくせき込む。」

1. 手の太陰肺経
2. 足の太陰脾経
3. 足の少陰腎経
4. 足の厥陰肝経

はき 8-103 脾の病証でみられる症状はどれか。

1. 胸脇苦満
2. 心悸亢進
3. 腹部膨満感
4. 性欲減退

はき 8-104 八綱病証で病勢を示すのはどれか。

1. 寒 熱
2. 陰 陽
3. 表 裏
4. 虚 実

はき 8-105 弱々しく細く指に感じられる脈状で虚証にみられるのはどれか。

1. 濡 脈
2. 洪 脈
3. 滑 脈
4. 弦 脈

はき 8-106 聞診で診るのはどれか。

1. 五 主
2. 五 香
3. 五 味
4. 五 悪

はき 8-107 小腹不仁を示す臓の病はどれか。

1. 肝
2. 心
3. 脾
4. 腎

はき 8-108 脈について誤っている記述はどれか。

1. 祖脈には数脈がある。
2. 七表の脈には実脈がある。
3. 八裏の脈には結脈がある。
4. 四季に応じる脈には弦脈がある。

はき 8-109 骨痺に対する刺法はどれか。

1. 短 刺
2. 報 刺
3. 揚 刺
4. 浮 刺

はき 8-110 難經六十九難で肝実証に行間穴とともに瀉法を行う経穴はどれか。

1. 大 敦
2. 少 府
3. 中 封
4. 然 谷

はき 8-111 補法に該当しない刺鍼法はどれか。

1. 細く柔らかい鍼を用いる。
2. 経気の流れにしたがって鍼を静かに刺入する。
3. 吸気に刺入し、呼気に抜く。
4. 抜鍼後は素早く鍼孔を閉じる。

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 7) 東洋医学概論	97～111
---------------	--------

はき 7-97 衛気について誤っているのはどれか。

1. 水穀の悍気のことをいう。
2. 脈外をめぐる。
3. 腠理の開闔を行う。
4. 先天の精から得られる

はき 7-98 臓腑について正しい組合せはどれか。

1. 心 ————— 将軍の官
2. 肺 ————— 作強の官
3. 胆 ————— 中正の官
4. 小 腸 ————— 伝導の官

はき 7-99 腎が主るのはどれか。

1. 納 気
2. 血 脈
3. 宣 散
4. 疏 泄

はき 7-100 五臓と五液との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝 ————— 汗
2. 心 ————— 涎
3. 脾 ————— 涙
4. 肺 ————— 涕

はき 7-101 肺の病証でみられるのはどれか。

1. 耳鳴り
2. 咳 嗽
3. 不 眠
4. 腰 痛

はき 7-102 気滞の症状でないのはどれか。

1. 胸苦しい
2. 息切れ
3. 腹部の脹った痛み
4. イライラ

はき 7-103 不内外因でないのはどれか。

1. 過 食
2. 暑 熱
3. 過 労
4. 外 傷

はき 7-104 奇恒の腑でないのはどれか。

1. 女子胞
2. 髓
3. 胆
4. 三 焦

はき 7-105 六部定位脈診で右尺中で診る臓腑はどれか。

1. 肝と胆
2. 心と小腸
3. 心包と三焦
4. 腎と膀胱

はき 7-106 珠をころがしたような脈はどれか。

1. 緩 脈
2. 洪 脈
3. 滑 脈
4. 弦 脈

はき 7-107 腎を診る舌診部位はどれか。

1. 舌 根
2. 舌中央
3. 舌 辺
4. 舌 尖

はき 7-108 次の文で示す刺法はどれか。「焼鍼を刺して即ち痺を取る。」

1. 大瀉刺
2. 分 刺
3. 輸 刺
4. 焮 刺

はき 7-109 難経六十九難で経渠穴と商丘穴とに瀉法を行うのはどれか。

1. 肝実証
2. 脾実証
3. 肺実証
4. 腎実証

はき 7-110 五臓五刺で関刺を用いるのはどれか。

1. 肝
2. 心
3. 脾
4. 腎

はき 7-111 補の施灸で誤っているのはどれか。

1. 小さい艾炷を用いる。
2. 艾炷を軟らかくひねる。
3. 風を送り燃焼させる。
4. 灰の上に重ねて施灸する。

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 6) 東洋医学概論	97～111
---------------	--------

はき 6-97 腎の臓の作用で正しいのはどれか。

1. 筋を主る。
2. 血脈を主る。
3. 運化を主る。
4. 精を蔵す。

はき 6-98 胆の腑の作用で正しいのはどれか。

1. 津液の生成を主る。
2. 大便の排泄を主る。
3. 栄養の吸収を主る。
4. 決断を主る。

はき 6-99 津液について誤っているのはどれか。

1. 脳髄を養う。
2. 骨に潤いを与える。
3. 皮膚に潤いを与える。
4. 脈中を流れる。

はき 6-100 疏泄を主る臓はどれか。

1. 肝
2. 脾
3. 肺
4. 腎

はき 6-101 五行と五声との組合せで正しいのはどれか。

1. 木 ————— 呻
2. 火 ————— 呼
3. 金 ————— 哭
4. 水 ————— 歌

はき 6-102 肝実証で難経六十九難に基づく治療穴はどれか。

1. 大 敦
2. 行 間
3. 太 衝
4. 曲 泉

はき 6-103 次の文で示す病証に関係する経絡はどれか。

「頸が腫れ、肩から上腕後内側を経て小指にいたる部位の激しい痛み、難聴がある。」

1. 手の陽明大腸経
2. 手の太陽小腸経
3. 手の少陰心経
4. 手の太陰肺経

はき 6-104 瘀血の腹証はどれか。

1. 小腹急結
2. 心下痞硬
3. 胸脇苦満
4. 小腹不仁

はき 6-105 心の病証に属さないのはどれか。

1. 不眠
2. 難聴
3. 言語障害
4. 健忘

はき 6-106 肝の病証に属するのはどれか。

1. 息切れ
2. 手足の冷え
3. のどのつかえ
4. 頻尿

はき 6-107 七表の脈でないのはどれか。

1. 浮脈
2. 遅脈
3. 実脈
4. 弦脈

はき 6-108 次の文で示す刺法はどれか。「病上にあればこれを下にとり、腑俞を刺す。」

1. 輸刺
2. 経刺
3. 巨刺
4. 遠道刺

はき 6-109 神技（望診）で診るのはどれか。

1. 顔色
2. 筋硬結
3. 呼吸音
4. 関節痛

はき 6-110 三陰三陽病証で往来寒熱、胸脇苦満が現れるのはどれか。

1. 太陽病
2. 太陰病
3. 少陽病
4. 少陰病

はき 6-111 六部定位脈診で肝の臓の脈状はどこで診るか。

1. 左手関上
2. 左手寸口
3. 右手関上
4. 右手尺中

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 5) 東洋医学概論	97～111
---------------	--------

はき 5-97 五行の相剋で正しい記述はどれか。

1. 金は水を剋す。
2. 木は火を剋す。
3. 土は金を剋す。
4. 火は金を剋す。

はき 5-98 五行色体の関係で正しい組合せはどれか。

1. 木 ————— 汗
2. 火 ————— 涙
3. 土 ————— 涎
4. 金 ————— 唾

はき 5-99 脾胃の運化作用で生成される気はどれか。

1. 真 気
2. 宗 気
3. 水穀の気
4. 衛 気

はき 5-100 五行色体でみた肺・大腸の症状はどれか。

1. 皮膚が色白で、弱い声で話す。
2. 目が青みがかって、手足の腱が痛む。
3. 顔がほてりのぼせて赤く、脈動が強い。
4. 顔や皮膚が黄ばみ、唇が荒れやすい。

はき 5-101 脾虚の症状はどれか。

1. 咳 嗽
2. 内臓下垂
3. 筋けいれん
4. 健 忘

はき 5-102 心を傷める七情はどれか。

1. 悲しみ
2. 怒 り
3. 憂 い
4. 喜 び

はき 5-103 五悪（五気）と五腑との組合せで正しいのはどれか。

1. 暑 ————— 小 腸
2. 寒 ————— 胃
3. 風 ————— 大 腸
4. 燥 ————— 膀 胱

はき 5-104 左乳下で触れる脈波どれか。

1. 胃の気の脈
2. 虚里の脈
3. 虎口三関の脈
4. 腎間の動悸

はき 5-105 胸脇苦満を示すのはどの臓の病か。

1. 肝
2. 脾
3. 肺
4. 腎

はき 5-106 六部定位脈診の部位と臓腑との組合せで正しいのはどれか。

1. 右の関上 ————— 肝・胆
2. 左の尺中 ————— 腎・膀胱
3. 右の寸口 ————— 心・小腸
4. 左の寸口 ————— 肺・大腸

はき 5-107 問診で診るのはどれか。

1. 脈 状
2. 体 臭
3. 悪 寒
4. 体 形

はき 5-108 「寒気の浅きもの」に対する刺法はどれか。

1. 恢 刺
2. 直鍼刺
3. 賛 刺
4. 斉 刺

はき 5-109 難経六十九難の治療で大敦穴に瀉法を行った。実していた経絡はどれか。

1. 肺 経
2. 心 経
3. 脾 経
4. 腎 経

はき 5-110 施灸で補法になるのはどれか。

1. 風を送って燃やす。
2. 底面を広くする。
3. 灰に重ねてすえる。
4. 皮膚に密着させる。

はき 5-111 鍼治療の補瀉で誤っている記述はどれか。

1. 呼気に刺入し吸気に抜くのは補である。
2. 弾爪は補である。
3. 鍼孔を押さえるのは補である。
4. 経絡の流れに逆らって刺すのは補である。

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 4) 東洋医学概論	97～111
---------------	--------

はき 4-97 五行色体表について正しい記述はどれか。

1. 目は腎に属する。
2. 筋肉は脾に属する。
3. 爪は肺に属する。
4. 汗は肝に属する。

はき 4-98 五志に含まれない七情はどれか。

1. 怒
2. 喜
3. 悲
4. 恐

はき 4-99 営（榮）気を蔵するのはどれか。

1. 胆
2. 心
3. 脾
4. 肺

はき 4-100 肝の臓の生理作用はどれか。

1. 納気を主る。
2. 運化を主る。
3. 神を蔵す。
4. 血を蔵す。

はき 4-101 任脈病証に含まれるのはどれか。

1. 月経異常
2. 頭 痛
3. 手足の麻痺
4. 関節腫張

はき 4-102 肝の病証に含まれるのはどれか。

1. 下 痢
2. 動 悸
3. 喘 鳴
4. 頭 痛

はき 4-103 次の文で示す患者の病症はどれか。

「顔に精気が感じられず、いつも腰がだるいという。小腹部は力がなくフワフワしている。最近、耳が聞こえにくくなった。」

1. 肝の病証
2. 心の病証
3. 脾の病証
4. 腎の病証

はき 4-104 湿邪について誤っている記述はどれか。

1. 陰性の邪気である。
2. 津液を消耗しやすい。
3. 重く停滞する。
4. 脾・胃をおかしやすい。

はき 4-105 舌診部位と臓腑との組合せで正しいのはどれか。

1. 舌根部 ————— 心
2. 舌辺部 ————— 肺
3. 舌中部 ————— 脾
4. 舌尖部 ————— 腎

はき 4-106 切経による実の反応はどれか。

1. 緊張
2. 陷下
3. 不仁
4. 冷感

はき 4-107 六部定位脈診で左手関上の部位を沈めて診る臓腑はどこか。

1. 肝
2. 腎
3. 胆
4. 胃

はき 4-108 五臓五刺の方法で肺の臓に対する刺法はどれか。

1. 関刺
2. 豹文刺
3. 合谷刺
4. 半刺

はき 4-109 難経六十九難で心が虚してるとき、補の治療で最も適切な経穴はどれか。

1. 少商
2. 少衝
3. 少沢
4. 少府

はき 4-110 次の文で示す刺法はどれか。「右を病めば左を取り、左を病めば右を取る。」

1. 輪 刺
2. 経 刺
3. 分 刺
4. 巨 刺

はき 4-111 補瀉について誤っている記述はどれか。

1. 吸気に刺入し呼気に抜くと補法になる。
2. 一般的に太い鍼は瀉法になる。
3. 経絡の流れに沿って刺入すると補法になる。
4. 速く刺入し速く抜くと瀉法になる。

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 3) 東洋医学概論	97～111
---------------	--------

はき 3-97 五臓と五色との対応で正しいのはどれか。

1. 心 ————— 青
2. 脾 ————— 赤
3. 肺 ————— 黄
4. 腎 ————— 黒

はき 3-98 次の文で示す症状を訴えるのはどの経絡の病証か。

「腋窩部の腫れ、上肢のひきつれ、手掌のほてり及び季肋部のつかえ。」

1. 手の太陽小腸経
2. 手の厥陰心包経
3. 手の陽明大腸経
4. 手の少陽三焦経

はき 3-99 腎の症状はどれか。

1. 難 聴
2. 血 便
3. 脇 痛
4. 胸 痛

はき 3-100 脾の生理作用で正しい記述はどれか。

1. 飲食物を清と濁に分ける。
2. 目に開竅する。
3. 筋肉を主る。
4. 血を蔵す。

はき 3-101 内因はどれか。

1. 六 淫
2. 七情の乱れ
3. 飲食労倦
4. 房事過多

はき 3-102 次の文で示す外邪はどれか。「百病の長ともいわれ、春に多く発病し、多くは皮毛から侵入する。」

1. 風
2. 寒
3. 湿
4. 燥

はき 3-103 精を蔵すのはどれか。

1. 心
2. 脾
3. 肺
4. 腎

はき 3-104 正邪の盛衰を診るのはどれか。

1. 寒 熱
2. 燥 湿
3. 表 裏
4. 虚 実

はき 3-105 難経による五臓と腹診部位との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝 ————— 臍の左側
2. 心 ————— 中胃部
3. 肺 ————— 心下部
4. 腎 ————— 臍の右側

はき 3-106 腹証で正しい組合せはどれか。

1. 小腹急結 ————— 腎
2. 小腹不仁 ————— 瘀 血
3. 胸脇苦満 ————— 肝
4. 心下痞硬 ————— 脾

はき 3-107 「消渴」の現代病名はどれか。

1. 悪性新生物
2. 心筋梗塞
3. 糖尿病
4. 高血圧症

はき 3-108 九鍼のうち皮膚の摩擦に用いられるのはどれか。

1. 鋒 鍼
2. 円（員）鍼
3. 鈹 鍼
4. 円（員）利鍼

はき 3-109 実熱証で診られる脈状はどれか。

1. 沈
2. 数
3. 虚
4. 細

はき 3-110 難經六十九難による瀉法で正しい組合せはどれか。

1. 肺実証 ————— 商丘、經渠
2. 脾実証 ————— 行間、少府
3. 肝実証 ————— 尺沢、陰谷
4. 心実証 ————— 神門、太白

はき 3-111 実証に対する鍼治療の手技として正しい記述はどれか。

1. 呼気時に刺入し吸気時に抜く。
2. 鍼尖を経絡の流れに沿って刺入する。
3. ゆっくり刺入しゆっくり抜く。
4. 抜鍼しても鍼孔を閉じない。

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 2) 東洋医学概論	97～111
---------------	--------

はき 2-97 五行色体の関係で正しい組合せはどれか。

1. 目 ————— 腎
2. 肌 肉 ————— 脾
3. 毛 ————— 肝
4. 髓 ————— 心

はき 2-98 脈外をめぐる気はどれか。

1. 経 気
2. 宗 気
3. 営 気
4. 衛 気

はき 2-99 相克について正しい記述はどれか。

1. 肝は腎を克する。
2. 肺は心を克する。
3. 心は脾を克する。
4. 脾は肝を克する。

はき 2-100 腎について正しい記述はどれか。

1. 第3腰椎に付く。
2. 骨を主る。
3. 将軍の官である。
4. 神を蔵する。

はき 2-101 魂を蔵し、判断力や計画性などの精神活動を支配する臓腑はどれか。

1. 肝
2. 心
3. 腎
4. 胆

はき 2-102 津液の代謝に関係しない臓腑はどれか。

1. 肝・胆
2. 脾・胃
3. 肺・大 腸
4. 腎・膀 胱

はき 2-103 喉の腫れ、鼻出血および下顎歯の痛みはどの経絡病証か。

1. 手の太陰肺経
2. 手の陽明大腸経
3. 足の少陽胆経
4. 足の太陽膀胱経

はき 2-104 五邪について正しい組合せはどれか。

1. 湿 邪 ————— 肺
2. 風 邪 ————— 肝
3. 暑 邪 ————— 腎
4. 寒 邪 ————— 心

はき 2-105 脈について正しい記述はどれか。

1. 左手の関上の脈は肝・胆を診る。
2. 弦脈、緊脈は陰脈である。
3. 人迎気口脈診は経絡病証を診る。
4. 陰脈、陽脈は祖脈である。

はき 2-106 難経の腹診において臍の下で診る病はどれか。

1. 肝の病
2. 心の病
3. 脾の病
4. 腎の病

はき 2-107 寒証でないのはどれか。

1. 遅 脈
2. 手足の厥冷
3. 小便は少なく赤い。
4. 温かいものを好む。

はき 2-108 次の文で示す病証に関係する経絡はどれか。

「咳、喘鳴、胸がハリ満ちた感じがあり、上肢の内側に沿った冷えと痛みがある。」

1. 手の少陽三焦経
2. 手の少陰心経
3. 手の厥陰心包経
4. 手の太陰肺経

はき 2-109 鍼の刺法について正しい組合せはどれか。

1. 半 刺 ————— 肺
2. 豹文刺 ————— 腎
3. 輸 刺 ————— 血 絡
4. 報 刺 ————— 腹 痛

はき 2-110 補法となる艾の取扱いはどれか。

1. 底面を広くする。
2. 皮膚に密着させる。
3. 柔らかくひねる。
4. 火力を強める。

はき 2-111 難経六十九難による補法で正しい組合せはどれか。

1. 肝 虚 ————— 中 封、湧 泉
2. 脾 虚 ————— 隠 白、然 谷
3. 肺 虚 ————— 大 敦、魚 際
4. 腎 虚 ————— 経 渠、復 溜

実施日	月 日 ()	科目	東洋医学概論	学年		点数	/
学部		番号		名前		正答率	%

(はき 1) 東洋医学概論	97～111
---------------	--------

はき 1-97 誤っているのはどれか。

1. 小腸は受盛の官である。
2. 胆は州都の官である。
3. 胃は水穀の海である。
4. 大腸は伝導の官である。

はき 1-98 胸中に宿る気はどれか。

1. 榮（営）気
2. 衛 気
3. 宗 気
4. 元 気

はき 1-99 臓腑の生理作用のうち骨と髄の生長発育に関係し、耳と二陰に開竅するのはどれか。

1. 心
2. 肺
3. 肝
4. 腎

はき 1-100 心の臓の生理・病理について誤っているのはどれか。

1. 心は血脈をつかさどる。
2. 心は疏泄をつかさどる。
3. 心は神を蔵す。
4. 心は舌に開竅する。

はき 1-101 奇恒の腑に属するのはどれか。

1. 脳・子 宮
2. 肝・腎
3. 脾・胃
4. 心 包・三 焦

はき 1-102 誤っているのはどれか。

1. 憂は肺を傷る。
2. 恐は肝を傷る。
3. 思は脾を傷る。
4. 喜は心を傷る。

はき 1-103 八綱病証で病位を診るのはどれか。

1. 陰 陽
2. 虚 実
3. 寒 熱
4. 表 裏

はき 1-104 問診と関連する組合せはどれか。

1. 酸 — 苦 — 甘
2. 呼 — 笑 — 歌
3. 青 — 赤 — 黄
4. 燥 — 焦 — 香

はき 1-105 八裏の脈はどれか。

1. 滑 脈
2. 緊 脈
3. 結 脈
4. 濡 脈

はき 1-106 冷え性で他覚的にも冷えが認められる状態を何というか。

1. 傷 寒
2. 惡 寒
3. 惡 風
4. 厥 冷

はき 1-107 六部定位の脈診部位と臓腑との組合せで正しいのはどれか。

1. 右の寸口 ————— 肺・大 腸
2. 左の関上 ————— 脾・胃
3. 右の尺中 ————— 腎・膀 胱
4. 左の寸口 ————— 心 包・三 焦

はき 1-108 聞診で用いる感覚はどれか。

1. 触 覚
2. 味 覚
3. 視 覚
4. 嗅 覚

はき 1-109 誘導法に相当する鍼の刺法はどれか。

1. 偶 刺
2. 豹文刺
3. 遠道刺
4. 分 刺

はき 1-110 鍼の補瀉で正しいのはどれか。

1. 呼気に刺入し吸気に抜くのは瀉である。
2. 抜鍼後の鍼痕を素早く押さえるのは補である。
3. 経絡の流れに逆らって刺すのは補である。
4. 刺入した鍼に軽い振動を与えるのは瀉である。

はき 1-111 難経六十九難による治療では肺が虚している時、これを補するのに最も適している経穴はどれか。

1. 二 間
2. 公 孫
3. 列 缺
4. 太 白